

土木学科の2年生33名が参加  
鉄筋組立作業などを体験

和歌山工業高校で出前講座を開催

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は10月22日（火）、和歌山市西浜の和歌山県立和歌山工業高校で同校の土木学科の2年生33名を対象に出前講座を開催しました。同校では昨年に続いての開催となります。

1～3時限(8:55～11:45)の日程で行われた出前講座では、最初に岩田理事長が挨拶し、「本日の講座を通じて鉄筋の役割やものづくりの楽しさを感じ取ってもらうとともに、この講座で得られたものをそれぞれの立場で今後役に立ててほしい」と出前講座の成果に期待を寄せました。

引き続き、まず6階の多目的ホールで座学が行われ、生徒たちは鉄筋の特性や建物の中で果たす鉄筋の役割などについて説明を受けました。その後、場所を1階の駐車場に移し2級検定モデル及び擁壁の鉄筋組立が行われ、4班に分かれた生徒たちはプロの職人の手ほどきを受けながら、ハッカーを使って真剣な表情で結束作業に取り組んでいました。最初は慣れない手つきで結束をしていた生徒も徐々にスピードアップし、ハッカーの使い方も上手になっていきました。また、この間には出前講座に共同参画した関西圧接業協同組合の職人さんの協力を得て、圧接作業の実演見学と体験も行われました。

今回の出前講座に参加した組合関係者は次のとおりです。

- ・ 岩田理事長（正栄工業）
- ・ 田浦副理事長(田浦)
- ・ 戸田副理事長（戸田鉄筋）
- ・ 森山技術部会長（城東鉄筋）
- ・ 恵谷理事（恵谷鉄筋）
- ・ 田村理事（田村工業）
- ・ 鎌田理事（鎌田鉄筋工業）
- ・ 辻本青年部会長（辻本鉄筋工業）
- ・ 職人さん（鎌田鉄筋工業3名、田浦1名）

## 講義状況

